

「My Netz Tea」50号記念

イラストギャラリー



節目の50号を記念して、イラストレーター浦野周平さんが 「My Netz Tea」のために描き下ろした作品を一挙ご紹介！

2005年2月、季刊誌としてスタートした「My Netz Tea」も、今回のWEBマガジンで節目の50号を迎えました！
これを記念して、39号からメインビジュアルを担当してきた、イラストレーター 浦野周平さんの作品を一挙ご紹介！
浦野さんは「モテリーマン」などのユニークなイラストで知られる存在です。
合計11枚のステキなイラストの数々をご覧ください！

浦野周平さんインタビュー！

大切にしているのはキャラクターを描く前の人物設定。
面白がるのがイラストレーションの極意なんです！

「もともとは避難経路図やプラモデルの設計図なんかが好きで、よく真似をして描いていました」と優しい笑顔で話す浦野さん。「たまたまデザイン会社から説明図のイラストを依頼されたんです。マニュアルのような本来無機質なもののなか、僕の描く漫画のようなキャラクター要素を組み込んだら面白いんじゃないかって」。浦野さんのイラストレーター人生は、ここから始まりました。

浦野さんの代表作「モテリーマン」誕生のきっかけは、「自分の似顔絵」と称して描いたイラスト。プロダクションの人の目に止まり「あの濃いキャラクターで企画を考えたい」とオファーがあったそうです。「僕のキャラクターモチーフは、80年代初頭にアメリカのテレビドラマでよく見た、髪の毛クリンクリンのお茶目な主人公(笑)なんです」と浦野さん。モテリーマンのイラストもそこから生まれたそうです。

浦野さんがキャラクターを描く時に大切にしているのは、描き出す前の「人物設定」。乗っている車や飼っているペットなどのサイドストーリーを組み立てながら楽しむと言います。「キャラクター作りは面白がるのが何より大切です。例えばドライブがテーマだったら、僕の場合80年代初頭の地味なアメリカ車に乗っている設定にするかな」と笑顔で話します。

インタビューの最後に「イラストが上手くなる方法」について伺いました。「まずは自分の好きな世界観を見つけて、たくさん描いてください。好きなイラストレーターの真似をして描いたり、全く違う画材やタッチで描き比べてみるのもいいかもしれません。きっと『面白い!』と思えるものに出会えますよ」とアドバイスをくれました。まずは浦野さんのイラストを真似してみませんか？



PROFILE

1976年東京生まれ。2015年まで、フリーマガジン「R25」に連載されていた「スマートモテリーマン講座」で人気のイラストレーターに。現在は『BRUTUS』『POPEYE』などの雑誌掲載のほか、書籍や広告、ロゴ、パッケージデザインまで手がけている。

■公式サイト

<https://shu-thang.com>



■ 季刊誌



vol. 39



vol. 40



vol. 41



vol. 42



vol. 43



vol. 44



vol. 45

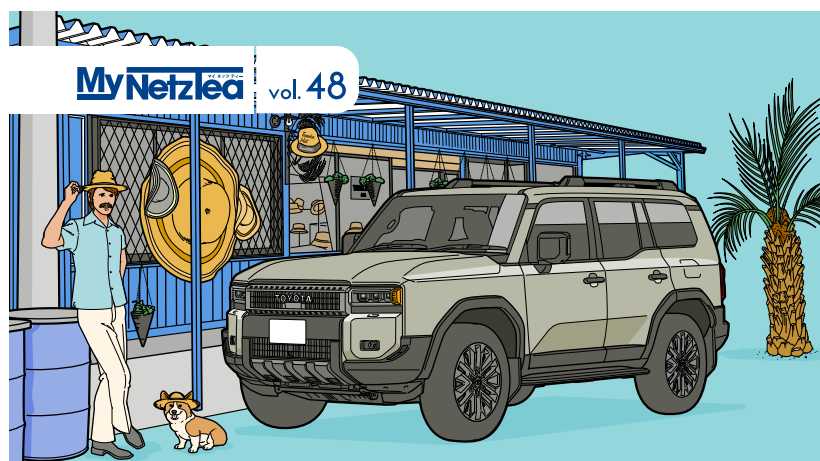


vol. 46

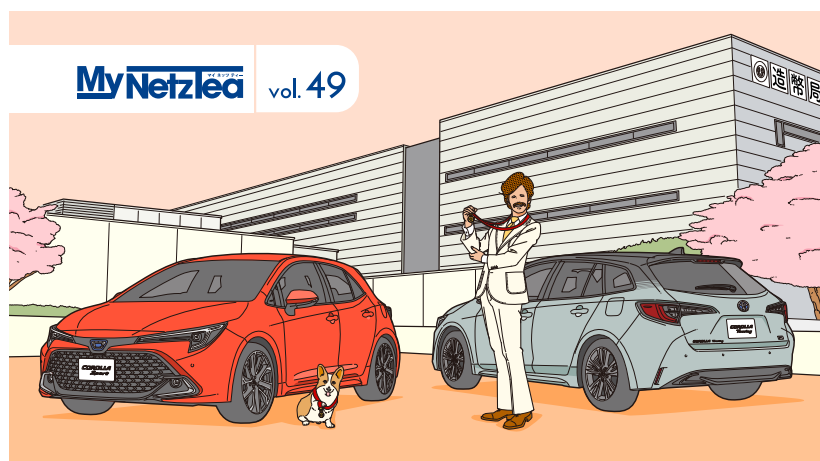


vol. 47

■ WEBマガジン



vol. 48



vol. 49

今後もカーライフに役立つ楽しい情報満載の
「My Netz Tea」を、よろしくお願いします！